

# 自動作成プログラム開発

## 半日でモデル作成

### 電線共同溝BIM/CIM

オリエンタルコンサルタンツは、関係者間の円滑な合意形成と事業期間の大幅短縮に向け、電線共同溝のBIM/CIMモデルを自動作成するプログラムを開発した。2次元の平面図、縦断面図、特殊部間ごとの横断面図を読み込むことでBIM/CIMモデルを自動作成できる。従来は1カ月から1・5カ月を要していたモデル作成時間が半日程度となり、95%以上の時間短縮が可能としている。

#### オリコンサル

ルを活用可能なため、工事で予想される課題を設計段階でフロントローディングにより検討・解決でき、設計・施工の品質が向上する。計画変更

にも短時間で対応できるため、3次元モデルを有効活用した円滑な協議と確実な合意形成を図れる。

自然災害の頻発・激甚化などに向け、電線共同溝は、関係者との協議・調整に時間を要し、それに伴って事業期間が長期化することが課題となっている。計画が複雑に変更されるケースも多いため、設計でのBIM/CIMモデルの作成負担が大きく、十分に活用されていない実態がある。

今回開発した自動作成プログラムによって、計画の初期段階からBIM/CIMモデル

自然災害の頻発・激甚化などを背景に無電柱化の必要性が高まる中で、防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策では電柱倒壊のリスクがある市街地などの緊急輸送道路の無電柱化が進められており、無電柱化法第7条の規定に基づく無電柱化推進計画では2021年度から5年間で4000基を整備するとしている。

一方で、こうした無電柱化